

点検技術の高度化に向けた公募型共同研究の実施について

～ 安全性向上3カ年計画の取組み ～

安全性3カ年計画に向けた取組みの一つとして、点検技術の高度化を目的とした共同研究を2件開始しました。

- 共同研究名 ① 『近接目視、打音点検に資する高精度あるいは高効率なセンサーの研究』
② 『高速で走行しながら変状等の異常を測定する技術の研究』

- 共同研究者 ① 7社 ② 1社

- 研究期間 ① 2014年9月まで ② 2014年6月まで

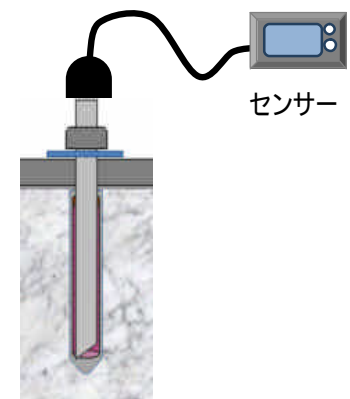
■研究概要

これらの共同研究では、点検技術の更なる信頼性向上と客観性確保を目指し、点検技術を高度化することを目的としています。

① 『近接目視、打音点検に資する高精度あるいは高効率なセンサーの研究』

道路付属物を固定するあと施工アンカーの性能を数値化し、その信頼性を客観的に評価・判断できるような技術の研究です。

劣化を想定した様々なテストピースを作製し、センサーを用いた測定と評価を行い、健全度評価の指標値を制定することを目指します。テストピースの製作と指標値の制定には学識経験者の協力を得ることとしています。



② 『高速で走行しながら変状等の異常を測定する技術の研究』

トンネルの壁面やトンネル内に設置された機器の変位や変状を検出するために、レーザーやカメラを搭載した車両を走行させながら計測する技術『車載型レーザースキャナ』の研究です。

3次元測量と画像処理技術の組合せにより、トンネル内空の微小な変状を、センサーを搭載した車両が日常点検走行中に検出することを目指します。

